

## はじめに

このたびの大震災による巨大津波は、東日本沿岸部に未曾有の被害をもたらし、当石巻広域管内においてもこれまで経験したことのない過酷な災害現場での対応を余儀なくされました。

あれから1年半が過ぎ、未だ震災の爪痕が残るなか、この震災で我々消防職員が体験したことを後世に伝えるため、いくつもの犠牲のうえで積み重ねられた記憶ではありますが、本活動記録に残し、今後の消防防災活動の一助となれば幸いと作成いたしました。

作成にあたっては、地元新聞社様はじめ関係機関より貴重な資料を賜り深く感謝申し上げます。さらには、ご寄稿いただきました緊急消防援助隊新潟県隊並びに北海道隊の皆様、和歌山県隊、山口県隊、鹿児島県隊の皆様はじめ多くの方々からご支援を賜り誠にありがとうございました。

本誌には当組合消防職員の体験、遭遇した災害現場での記憶が赤裸々に綴られておりますが、いずれも地域住民の盾となり、生命を守るため、時には命懸けの活動をしてきたことがお分かりいただけると思います。

消防長として大変誇りに思う反面、職務を全うした尊い6名の隊員の命を殉職という形で失ってしまったことは、痛恨の極みであります。

本誌を一読していただき、今後とも当広域消防に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、巻頭のあいさつとします。

平成24年9月11日

石巻地区広域行政事務組合

消防長 星 幸三郎

